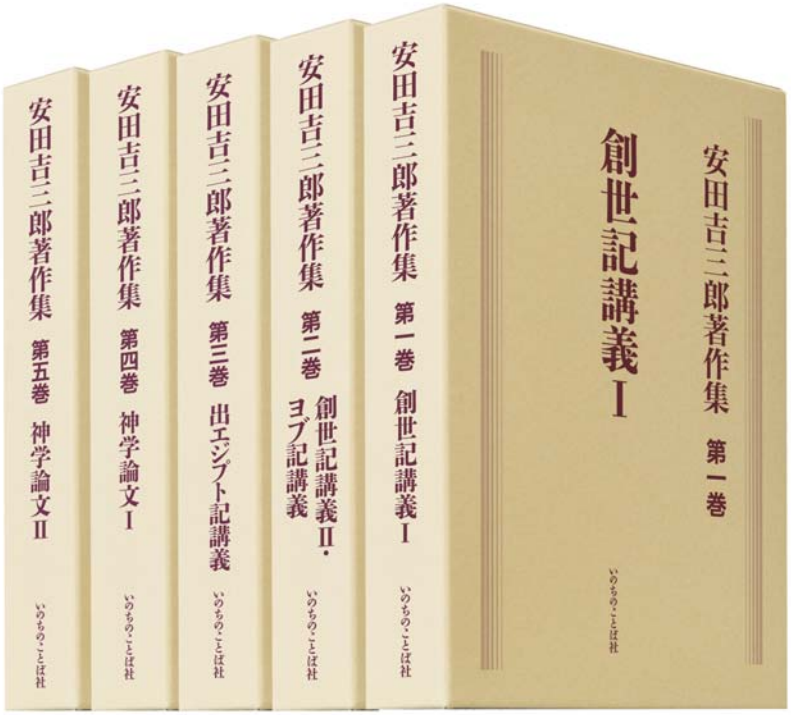
みことばの説き明かし、
神学研究、思索の業績を集大成

安田吉三郎著作集 全五巻
2024年に完結予定



A5判 上製箱入 456頁 定価5,940円(本体5,400円＋税)
ISBN978-4-264-04430-7 C0016
いのちのことば社　卸コード 16150

安田吉三郎著作集 第一巻
創世記講義Ⅰ

日本の改革派教会の礎を築いてきた牧師であり、キリスト教界、福音派の発展に大きく寄与してきた神学者であり、多くの後進に影響を与えてきた教育者の、みことばの説き明かし、神学研究、思索の業績を収載する著作集全五巻。
第一巻は「創世記講義Ⅰ」。

安田吉三郎 略歴

1930年3月26日 神戸市に生まれる。1946年初夏 関西学院大学学生の兄・安田良介に連れられて神港教会に初めて出席。1947年12月 日本キリスト改革派神港教会において受洗　司式田中剛二牧師。1952年3月 関西学院大学文学部英文科卒業（T. S. エリオットを研究）。1956年3月 神戸改革派神学校卒業。1956年10月 太田伝道所宣教教師に就職。1962年9月 米国ウェストミンスター神学校修士課程に入学。1964年5月 米国ウェストミンスター神学校より「ヨブ記の文学的構造」で Th.M 取得。1964年8月 日本キリスト改革派教会西部中会宝塚伝道所宣教教師に就職。1968年4月 神戸改革派神学校聖書学専任教授に就職、就職式講演題「イスラエルの神」。1975年9月 日本キリスト改革派東部中会に移り、キリスト改革派ジャパン・ミッションの協力教師として勝田台伝道所に就任。1979年9月16日～2000年3月26日（誕生日の日）まで日本キリスト改革派神港教会牧師。この間に、会堂建築、詩編歌の翻訳、マルク・ガルニエ社パイプオルガン設置決定。1980年9月 神戸改革派神学校教授に就任。1987年10月～2001年まで　神戸改革派神学校非常勤講師（神学校においては、ヘブライ語、ギリシア語、旧約緒論、旧約神学、旧約釈義、新約緒論、新約神学、新約釈義など担当）。1991年10月 日本キリスト改革派第46回大会において大会議長に就任。以後5期連続（1996年10月まで）。1997年7月 諏訪哲夫神戸改革派神学校理事長の後を継いで、2000年7月まで理事長、以降2003年10月まで、常任理事。2000年4月～ 日本キリスト改革派教会引退教師。2023年2月26日　召天
【牧会教会履歴】岐阜県美濃加茂市、太田伝道所（神学校卒業後直ちに赴任、1956年4月～1962年）、兵庫県宝塚市、宝塚伝道所（西部中会阪神間開拓伝道として、1964年8月2日～1968年3月）、千葉県八千代市、C.R.C 勝田台伝道所（1975年9月～1978年4月）、同勝田台教会（1978年4月～79年8月、勝田台教会設立、初代牧師就職）。他に、園田教会、滋賀摂理伝道所、広島教会、灘教会等の代理牧師、宣教教師等を歴任。また、1985年、日本福音主義神学会の理事長、淀川キリスト教病院理事などを務める。
【著書】新聖書注解シリーズ『旧約第3巻　ヨブ記』『旧約第4巻　エレミヤ書、哀歌』『新約第3巻　ヘブル人への手紙』、新聖書講解シリーズ『新約第6巻　ローマ人への手紙』『旧約第18巻　ホセア書・ミカ書』、『実用聖書注解　出エジプト記』ほか
【訳書】『ライル福音書講解　ヨハネ3』『ティンデル聖書注解 ヨエル書、アモス書』